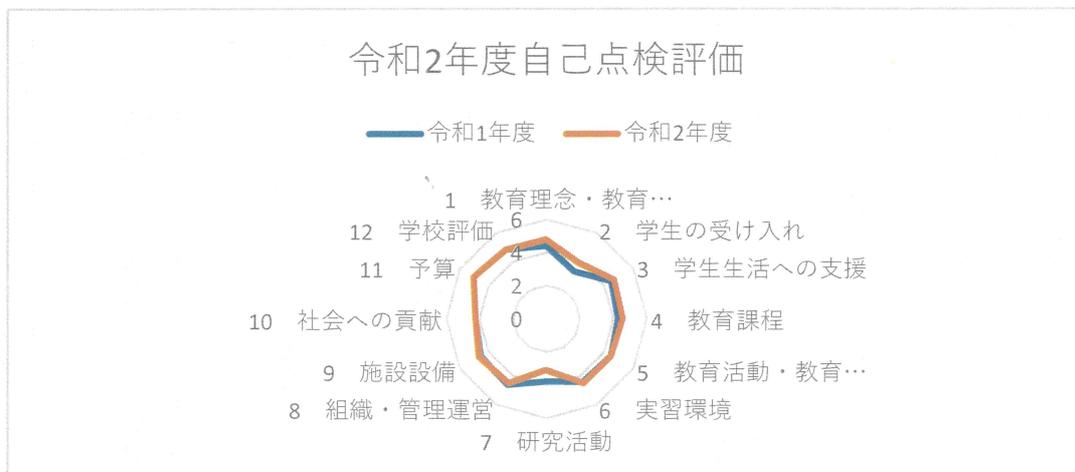


## 令和2年度 たちばな医療専門学校 自己点検・評価

| カテゴリー                  | 令和1年度 | 令和2年度 |
|------------------------|-------|-------|
| 1 教育理念・教育目標 (11項目)     | 4.4   | 4.8   |
| 2 学生の受け入れ (14項目)       | 3.3   | 3.9   |
| 3 学生生活への支援 (21項目)      | 4.5   | 4.7   |
| 4 教育課程 (10項目)          | 4.3   | 4.6   |
| 5 教育活動・教育指導のあり方 (26項目) | 4.5   | 4.5   |
| 6 実習環境 (17項目)          | 4.4   | 4.5   |
| 7 研究活動 (10項目)          | 3.8   | 3.1   |
| 8 組織・管理運営 (30項目)       | 4.6   | 4.5   |
| 9 施設設備 (31項目)          | 4.5   | 4.6   |
| 10 社会への貢献 (6項目)        | 4.2   | 4.2   |
| 11 予算 (7項目)            | 5     | 5     |
| 12 学校評価 (5項目)          | 4.8   | 4.8   |

### 評価規準

- 5 十分に達している (90%以上)
- 4 おおむね達成している (70%以上～90%未満)
- 3 やや達成している (50%以上～70%未満)
- 2 どちらかというとな達成されていない (20%以上～50%未満)
- 1 ほとんど達成されていない状態 (20%未満)



「看護師養成所の教育活動に関する自己評価指針作成検討会」報告書に基づき、教職員を対象とした評価を12カテゴリー(188項目)の評価表を用いて実施し、回答率は100%で、カテゴリーごとに平均値を算出して、前年度と比較分析を行った。

### 【 自己点検評価 4.0以下の項目について 】

カテゴリー2 「学生の受け入れ」について

(20) (21) 在学生数は約57%、入学試験の応募状況は定員に対して約43%で、この数年間定員割れが続いていることが低い評価の要因となっている。

(16) (17) 「合格基準」、および「転・編入学の方法・基準」については検討中で、この数年定員を下回る学生数となっており、定員に達しない場合には判定会で検討して決定している。

県内の2年過程は1校が募集を停止、看護学校便覧によると、全国では2018年6校、2019年4校、2020年11校が募集を停止しており、看護師へのスキルアップを目指す准看護師にとって当校は希少な存在となりつつあり、そのためか今年度の入学試験応募者は微増した。2年課程では令和5年から新カリキュラム施行となるが、その編成に向けて、当該項目に関連するアドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)の検討を進めている。一定の公平性を担保しつつ、看護師としてのあらゆる適性を見出しながらか判定していきたいと考える。

カテゴリー7 「研究活動」について

昨年からの新型コロナウイルス感染症の蔓延もあり、学会参加・研究活動への取り組みはあまりできていないが、臨床ナースとの連携や交流を図る機会があり、今後は関連施設との積極的な交流を図っていきたいと考えている。

令和3年4月5日（月）自己点検・評価会議実施

令和3年4月28日（水）学校関係者会議開催

出席者：オレンジ学園看護部長 福山病院総看護師長 松下病院総看護師長

仁心看護専門学校副校長 仁心看護専門学校副校長事務長

たちばな医療専門学校副校長 たちばな医療専門学校事務長 たちばな医療専門学校教務主任

学校関係者評価会議の開催をとおして、重症心身障害児(者)の認定看護師や実際に災害派遣で参加したナースがいること関連施設の管理者より紹介され、講義や教員の研鑽の機会となることも期待される。

関連施設はもとより臨床ナースとの交流機会をとおして、貴重な体験談に触れ、より実践的な看護教育に取り組んでいきたいと考える。